

非常事態宣言を受けて

1/8(金)の非常事態宣言の再発令を受けて、私たちの身の回りの至る所で、様々な緊急措置がとられています。特に都内の都立・私立高校については「生徒の通学範囲が広いとして、時差通学を徹底するとともに、対面での指導と家庭でのオンライン学習を組み合わせた分散登校を実施する。」と説明されています。事実、この連休明けからは、分散登校や時差登校が開始され、通勤時間帯の交通機関から「高校生の姿」が著しく減っています。

一方、公立の小中学校ではどうなっているかということ、今まで以上に感染症対策をしっかり行うことで感染を予防し、「休校とすることなく学校生活を継続していく。」となっています。

しかしながら、「今まで以上の感染症対策」を行うことになったため、昨春からの様々な制限に対し、知恵を絞った苦肉の対策で何とか授業を行ってきた実技教科だけではなく、通常行われている授業においてもより厳しい対応をとらざるをえない状況が始まりました。

されど、学校という「人が集う場」に集まり、会話が出来たり、表情がうかがえたり、共有できる時間があるだけでありがたいのかもしれませんが。

大学では、登校することすらできず、1年のほとんどがオンラインでの学習。大学1年生は、これからの学校生活や人との出会いに夢膨らませていたにもかかわらず、未だ何一つ出来ていない。また、大学4年生は、最後の学生生活を仲間や友達と過ごせず、社会に旅立つさみしさが募る日々。人と集えるということは、当たり前であったけれども、実はとても尊いことだったのです。

中学3年生は、これから本格的な受験シーズンとなります。家や学習塾等での勉強も大変と思います。そんな中で、中学1年生からずっと近くにいた仲間の姿を見ながら学校で学習することは、疲れを癒し、心身ともに健やかに過ごすための「心のビタミン」になるはずです。

気が付いてみると、卒業まであと約2ヶ月。石神井中での学校生活が良い形で終われるよう、今すべきことから目を背けずに取り組んでください。

副校長 志村 修

タブレットパソコンの配布

テレビや新聞等の報道にもあるように、全国の小中学校の児童・生徒に対して、タブレットパソコンが配布されます。

石神井中学校では、1/14(木)に納入され、生徒の皆さんが円滑に活用できるように、計画的に準備を進めています。ただ、多くの方が誤解し



タブレットパソコン：クロームブック

ているようなので、あらかじめお伝えしておきますが、このタブレットパソコンは、簡単に全ての生徒が使いこなせ、そしていろいろなことができるものではありません。先生方も丁寧に説明していきますが、生徒の皆さんは、決められた操作手順を覚え、なおかつ使用上のルールをしっかり理解して使用していくこととなります。またその管理において、生徒やご家庭にも新たな負担が増えることもまた事実です。

現在、オンライン授業などに取り組んでいる多くの高校では、配信側・受信側の双方で、操作やデータの通信量等にストレスを感じさせないよう、各家庭の負担で運営会社に費用を納められています。しかしながら公立の小中学校では、そのようなことはできませんので、いろいろと制限がある中での活用開始となります。今後、改善が図られて行くと思いますが、「まずは機器に慣れること」です。

また、タブレットパソコン配布に向けての教員研修のため、1/15(金)の時程を調整し、生徒下校が15:00となります。間際の変更となり申し訳ございませんが、1日も早い生徒配布のための措置です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

